

モロッコ

Kingdom of Morocco

	2014年	2015年	2016年
①人口: 3,482万人(2016年)			
②面積: 44万6,550km ²			
③1人当たりGDP: 3,063米ドル (2016年)			
④実質GDP成長率(%)	2.7	4.5	1.2
⑤消費者物価上昇率(%)	0.4	1.6	1.6
⑥失業率(%)	9.9	9.7	9.4
⑦貿易収支 (100万モロッコ・ディルハム)	△176,433	△143,464	△173,651
⑧経常収支 (100万モロッコ・ディルハム)	△55,220	△21,144	△44,496
⑨外貨準備高(100万米ドル)	19,672	22,254	24,541
⑩対外債務残高(グロス) (10億モロッコ・ディルハム)	278.1	301.0	312.4
⑪為替レート(1米ドルにつき、 モロッコ・ディルハム、期末値)	9.04	9.91	10.10

[注] ⑦⑧の2015年、③④⑦⑧の2016年は暫定値。⑦: 国際ベース(財のみ)

[出所] ①②④~⑥: モロッコ高等計画委員会、③⑨⑩: IMF、⑦⑧: モロッコ為替局、⑪: モロッコ中央銀行

■ 農水産分野の不振で経済成長が低下

2016年のモロッコの実質GDP成長率は1.2%と、前年の4.5%大きく下回った。これは、非農業分野が前年の1.8%増から2.2%増へと緩やかに回復したものの、農業分野が前年の11.9%増から12.8%減に大幅に落ち込んだためである。依然として農水産分野の生産動向が同国の経済成長を左右する構図となっている。

需要項目別では、民間最終消費支出が前年比で3.4%に増加したほか、国内総固定資本形成が9.3%増と大きく伸びた。一方、政府最終消費支出の伸びは前年の2.4%から2.1%に、政府系非営利機関の最終消費支出も8.9%から6.5%に減速した。財貨・サービスの輸出は15.4%増、同輸入は5.1%増であった。

■ 原油輸入が抑制されるも貿易収支は悪化

2016年の貿易(通関ベース)は、輸出が前年比2.7%増の2,240億モロッコ・ディルハム(以下、MAD)、輸入は9.8%増の4,087億MADで、貿易赤字は前年比19.8%増の1,846億MADへ拡大した。輸出は前年に続き乗用車および、ワイヤーハーネスを中心とする自動車部品が順調に拡大し、輸出品目別では乗用車が最多で前年比22.4%増の大幅増を記録した。その他、モロッコの主要資源であるリン鉱石・同製品(リン肥料、リン酸液など)は、リン肥料が前年比14.6%増であったものの、自動車関連品

表1 モロッコの需要項目別実質GDP成長率

(単位: %)

	2015年	2016年				
		Q1	Q2	Q3	Q4	
実質GDP成長率	4.5	1.2	1.7	0.5	0.8	0.9
民間最終消費支出	2.2	3.4	2.7	2.2	2.9	3.1
政府最終消費支出	2.4	2.1	0.8	0.8	1.1	1.1
国内総固定資本形成	0.2	9.3	5.0	3.9	5.7	4.7
財貨・サービスの輸出	△1.1	15.4	6.3	4.6	3.7	8.0
財貨・サービスの輸入	5.5	5.1	8.7	8.7	11.9	11.8

[注] 四半期の伸び率は前年同期比。

[出所] モロッコ高等計画委員会

の輸出増を受けて輸出全体に占める割合は2割を下回った。3位の衣料品は前年比8.6%増の219億MADと好調であった。このほかタコ・イカ・貝類(構成比3.3%)は21.8%増と顕著な伸びを示したものの、トマト(生鮮・冷蔵、2.2%)は5.2%の減少となった。モロッコではグループPSA(旧PSAプジョー・シトロエン・グループ)が中部ケントラ市近郊のアランティック・フリーゾーン(AFZ)に2019年操業を目指して完成車工場を建設中であり、AFZには自動車部品メーカーの進出が始まっている。2017年3月にはAGC旭硝子がモロッコのガラスメーカー・アンデュヴェール社との合弁で新設する自動車用ガラス工場の起工式を行った。2019年に操業開始し、モロッコから欧州・北アフリカに製品を供給する予定である。

一方、輸入はエネルギー関連品目の輸入が大きく抑制された。国内唯一の石油精製会社サミールが2015年7月に財務問題を抱え、それ以降実質的に破産状態であることから国内での精製ができず、2016年の原油の輸入量はゼロとなった。また、原油と同様に天然ガス(構成比2.7%)や石炭など(1.1%)の輸入が減り、それぞれ前年比15.7%減、10.1%減となった。また電力の輸入(0.5%)も前年比26.6%と大きく抑制された。

一方で、資本財(258億MAD)、最終消費財(109億MAD)、食料品(90億MAD)、中間財(55億MAD)などの輸入は増えた。小麦も含めた穀物(4.5%)や油脂(1.3%)がいずれも前年比で大幅に増加した。

国別では、前年同様に輸出、輸入ともスペイン、次いでフランスが最大の貿易相手国であった。スペインへの輸出額は前年比6.5%増の523億MAD、フランスは5.6%増の472億MADであり、3位のイタリアを含めるとモロッコの輸出全体の約5割となる。輸入では、スペインが前年比19.7%増の642億MAD、次いでフランスが17.1%増の

表2 モロッコの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万モロッコ・ディルハム、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2015年		2016年		2015年		2016年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
乗用車	23,592	28,882	12.9	22.4	石油製品	32,485	34,757	8.5	7.0
ワイヤーハーネス	22,825	24,103	10.8	5.6	乗用車	15,547	19,435	4.8	25.0
衣料品	20,200	21,942	9.8	8.6	自動車部品(車体等)	11,882	16,432	4.0	38.3
リン肥料	18,254	20,912	9.3	14.6	小麦	8,555	12,783	3.1	49.4
リン酸	16,365	11,400	5.1	△30.3	天然ガス	13,169	11,103	2.7	△15.7
リン鉱石	9,979	7,412	3.3	△25.7	ワイヤーハーネス	9,894	10,915	2.7	10.3
タコ・イカ・貝類	6,051	7,371	3.3	21.8	航空機および航空機部品	6,747	7,486	1.8	10.9
イワシ・サバ等の罐詰	6,046	6,153	2.7	1.8	穀物(小麦を除く)	5,001	5,731	1.4	14.6
トマト(生鮮、冷蔵)	5,296	5,018	2.2	△5.2	油脂	4,505	5,211	1.3	15.7
半導体デバイス	3,945	4,088	1.8	3.6	石炭および石炭製品	4,902	4,407	1.1	△10.1
砂糖	777	1,695	0.8	118.2	電力	2,993	2,197	0.5	△26.6
合計(その他含む)	218,040	224,019	100	2.7	合計(その他含む)	372,225	408,659	100	9.8

[注] 2015、2016年とも暫定値。
[出所] モロッコ為替局

540億MADであった。中国は前年比21.5%と大きく伸び373億MADとなった。一方、前年7位のロシアは37.2%減の100億MAD、前年10位のサウジアラビアは19.1%減の78億MADとなった。

■ 欧米・中東諸国からの投資が中心

モロッコ為替局によると、2016年の同国の対内直接投資額(報告・届け出ベース、フロー)は前年比17.3%減の330億MADであった。業種別では前年同様、不動産業が最大(構成比40.7%)で、135億MADであった。2位は製造業(22.4%)で74億MAD、3位は商業(10.8%)で36億MADとなった。一方、これまで好調であった観光業、エネルギー・鉱業分野は、それぞれ前年比6割減の8.5億MADと同8割減の2.9億MADにまで縮小した。国別では前年に引き続きフランスが最大投資国(構成比26.4%)で87億MADであった。次いでアラブ首長国連邦(12.2%)が40億MAD、英国(8.5%)が27.9億MAD、サウジアラビア(8.4%)が27.5億MADと僅差で続き、外国投資上位10カ国は欧米および中東諸国が占めた。なお、中国は3.4億MADであった。

また、対外直接投資額は、前年比2.6%減の72億MADであった。最大の投資先はフランスで19億MAD、次いでコートジボワール(11億MAD)、3位がアラブ首長国連邦(7.1億MAD)となった。

■ アフリカ連合(AU)に加盟

日本の「貿易統計(通関ベース)」によれば、2016年の対モロッコ貿易は、輸出が前年比30.7%増の3億3,800万ドル、輸入が3.5%増の2億7,100万ドルであり、日本

表3 モロッコの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万モロッコ・ディルハム、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2015年		2016年		2015年		2016年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
スペイン (1)	49,086	52,298	23.3	6.5	スペイン (1)	53,652	64,228	15.7	19.7
フランス (2)	44,690	47,203	21.1	5.6	フランス (2)	46,137	54,025	13.2	17.1
イタリア (3)	9,524	10,412	4.6	9.3	中国 (3)	30,682	37,282	9.1	21.5
米国 (5)	7,691	7,795	3.5	1.4	米国 (4)	23,725	26,010	6.4	9.6
インド (4)	8,558	7,433	3.3	△13.1	ドイツ (5)	21,584	24,036	5.9	11.4
トルコ (6)	6,659	7,431	3.3	11.6	イタリア (6)	20,120	22,190	5.4	10.3
英国 (9)	6,015	6,567	2.9	9.2	トルコ (8)	15,814	18,125	4.4	14.6
ドイツ (10)	5,572	6,168	2.8	10.7	ポルトガル (9)	10,789	12,016	2.9	11.4
ブラジル (8)	6,491	5,784	2.6	△10.9	ロシア (7)	15,942	10,006	2.4	△37.2
オランダ (7)	6,679	4,928	2.2	△26.2	サウジアラビア (10)	9,686	7,835	1.9	△19.1
合計(その他含む)	218,040	224,019	100	2.7	合計(その他含む)	372,225	408,659	100	9.8

[注] ①2015、2016年とも暫定値。
②国名の横のカッコ内数値は2015年順位。
[出所] モロッコ為替局

は6,690万ドルの貿易黒字を計上した。これまで日本の最大輸出品目であった自動車(乗用車、バス・トラック)が前年の1億4,100万ドルから6,390万ドルに大きく減少したものの、原動機など機械類が1,220万ドルから1億480万ドルまで大幅に増え、また金属製品などの原料品や電子部品、重電機器などが輸出増加に貢献した。輸入は魚介類(構成比64.2%)が前年比3.8%増と堅調に推移したほか、衣類(18.3%)が前年比30.9%の増加となっている。

日本の2016年の対モロッコ投資額は1,100万MADであり前年から大きく減少した。一方で製造業を中心に日本企業の事業活動は着実に進展していることから、日本企業は二重課税を避けるため、欧米その他の国を迂回して投資しているとみられる。なお、モロッコは2017年1月末、アフリカ連合(AU)への加盟を果たした。もともとAU前身組織であるアフリカ統一機構(OAU)の設立メンバー国であったが、西サハラ領有権をめぐる対立する独立勢力、サハラ・アラブ民主共和国(SADR)がOAU加盟国として承認されたことに反発し、1984年に脱退していた。モロッコは今後、AUを通じて日本が主導するアフリカ開発会議(TICAD)にもより積極的に関与することが期待される。